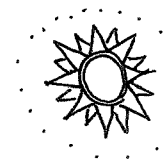


いずみのひるば

2023年7月号
日本基督教団世界宣教
NO.534 教会学校



「天地の造り主」 創世記 1: 1~5

「使徒信条」の最初の言葉、「我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず」これは、わたしたは天と地を造られた何れでもお出来になる神さまを信じます。と言うことです。このことを教会は信じ、大事にしてきました。

旧約聖書の一番最初に「初めに神は天地を創造された」と書いてあります。「創造された」とは「お造りになった」と言うことです。

- 神さまは1日目「真つ暗闇の中に光を造られ、「昼」と「夜」をお造りになりました。
 - 2日目「空」を造られ、空の中の水を上と下にお分けになりました。
 - 3日目は「陸」と「海」を造られ、陸の上に草や木をめえさせられました。
 - 4日目は「太陽」と「月」と「星」をお造りになりました。
 - 5日目は海や川、湖や池の中に住む生き物を、地上に鳥をお造りになりました。
 - 6日目は地の上に住む動物や家畜、爬虫類や虫をお造りになりました。
- そして一番最後に神さまは、ご自分の姿に似せて人間をお造りになり「産めよ、増えよ、地に満ちよ」と言われ祝福されました。
- 神さまはお造りになったすべてのものを見て「これはいい！なかなかいい！」とよろこばれました。そんな中でも、わたしたち人間だけは神さまが息をふきこまれ、特別なものとして造られました。最高に素晴らしいものとして造ってくださったのです。

神さまはこの世界のすべての物を造られました。わたしたち人間のこと、みんなのことです。世界の物はすべて神さまのお氣に入りの最高傑作です。みんな神さまに造られた神さまの「宝物」なのです。

わたしたちは、神さまがこの世界を造られた事を信じます。それは、この世界のすべてが、そしてみんなも、神さまの大切な「宝物」だと言う事を信じています。わたしたちは、そしてこの世界は、神さまの「宝物」で、神さまに愛されています。神さまはご自分の大切なひとり子であるイエスさまを、救い主としてわたしたちに与えてくださるほどに、この世界を、このわたしたちを愛してくださいます。わたしたちはこのことを信じ、神さまに感謝して、これからも歩んで行きたいと思えます。

おはなし (森田裕子先生)

